

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名: 茂原市地域公共交通会議

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
茂原市地域公共交通会議	【市民バス】 事業者: 小湊鐵道株式会社 運行系統: 南部(鶴枝)・南部(五郷)	南部(鶴枝): 茂原駅～三ヶ谷神社～茂原駅 南部(五郷): 茂原駅～石神集会所～茂原駅	<ul style="list-style-type: none"> ・電車との乗継利便性の向上等の理由により、時刻表改正を行った。 ・新たに「茂原市交通マップ」を作成し、市内の各公共施設や鉄道駅等に配布した。 ・福祉部局と連携し、市内のケアマネージャー等を対象とした公共交通に関する説明会を実施した。 ・運賃収入以外の収入源の確保のため、市民バスの車体に有料広告の掲載を行った。 	計画どおり事業は適切に実施された。	前年度よりも北部(豊岡)コースは1,289人(32.1%減)、東部コースが6,309人(12.6%減)、南部(鶴枝)・南部(五郷)コースは10,171人(12.6%減)と全てのコースで利用者数が減少した。全体では、3,001人の減、前年度比で14.4%の減となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少した一因と推測される。	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃収入以外の収入源の確保のため、引き続き市民バスの車体等に、有料広告を募集し掲載を行う。 ・広報・自治会への回覧等を通じ、さらなる周知を図ると共に、必要に応じて地元説明会等を実施する。 ・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。 	交通マップの作成や公共交通に関する説明会の実施等の利用促進策を講じたことは評価できるが、利用者数に関する目標は未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標達成には至らなかったが、引き続き利用促進や利便性向上のための取り組みを進めるとともに、コミバスやデマンド交通について、どういった目的・ニーズで利用されているか、運行形態や行き先、予約システムが利用者のニーズに合致しているか検証を行い、市民にとって利用しやすい公共交通となることを期待する。	
茂原市地域公共交通会議	【デマンド交通】 事業者: 都自動車株式会社 運行系統: 北西エリア	茂原市北西エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに「茂原市交通マップ」を作成し、市内の各公共施設や鉄道駅等に配布した。また、広報で周知を図った。 ・福祉部局と連携し、市内のケアマネージャー等を対象とした公共交通に関する説明会を実施した。 	計画どおり事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用登録者数は、以前の目標(500人)を達成できたため、見直しにより新たに目標値を750人に設定した。前年度から41人増加している。利用者数は、目標値の10人/日以上を達成できた。前年度と比較すると7人の増、前年度比では0.4%の増となっている。 ・運賃収入の半分以上が回数乗車券であることから、回数乗車券の導入により利用促進効果があったと推測される。また、利用者のほとんどが60歳以上であることから、交通弱者の移動手段が確保され、外出機会の増加に大きく寄与している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用需要の高い高齢者を中心とした利用促進策を講じて、利用者の拡大に努める。 ・広報・自治会への回覧等を通じ、さらなる周知を図ると共に、必要に応じて地元説明会等を実施する。 ・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名： いすみ市地域公共交通活性化協議会

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
いすみ市地域公共交通活性化協議会	小湊鐵道(株) いすみ循環-1	市役所大原庁舎～ 長者町駅～いすみ 医療センター～市 役所大原庁舎	<p>前回の評価、平成31年度(令和元年度)地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員の助言として、需要・効果等のデータ分析と調査の必要性、グルメや観光分野(いすみ鉄道等)の連携の重要性を指摘いただいたところ。</p> <p>現在、上記指摘を受け、地域公共交通計画の策定と並行して需要調査等を来年度実施予定。また観光分野(いすみ鉄道等)との連携を目指し、土曜日の運行を開始した。公共交通を利用した観光モデルコースの作成に取り組んでいる(広く周知し、動画も作成予定)。</p>	計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。	<p>補助対象期間(令和元年10月から令和2年9月)の利用目標22,000人のところ、実績は22,795人(うち75歳以上無料パスポート使用者が9,857人)という結果となった。</p> <p>利用者増は実現したが、コロナ禍により年配者が外出を控えたのか、65歳以上無料パスポートの利用者数が前年度に比べて大きく減少した。</p>	<p>感染予防対策を十分に行ったうえで、高齢者の利用促進を引き続き行っていくと同時に、収支率を回復させるためにも若年層(観光客等も含む)の需要を掘り起こすような調査・啓発・施策が肝要と考えられる。</p> <p>また、アフターコロナを見据えた新たな試みを模索していきたい。</p>	<p>市内無料パスポートの導入やダイヤ改正に合わせた地域住民への周知活動等の効果により、利用者数が増加し設定した目標を達成されたことは評価できる。今後も、アフターコロナを見据えながら、更なる利用促進に取り組まれるとともに、市民にとって利用しやすい公共交通となることを期待する。</p>	
いすみ市地域公共交通活性化協議会	小湊鐵道(株) いすみ循環-2	市役所大原庁舎～ 長者町駅～房信夷 隅町支店前		計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。				
いすみ市地域公共交通活性化協議会	小湊鐵道(株) いすみ循環-3	市役所夷隅庁舎前 ～下布施～市役所 大原庁舎		計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。				
いすみ市地域公共交通活性化協議会	小湊鐵道(株) いすみ循環-1'	市役所大原庁舎～ 長者町駅～いすみ 医療センター～市 役所大原庁舎		計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。				
いすみ市地域公共交通活性化協議会	小湊鐵道(株) いすみ循環-2'	市役所大原庁舎～ 長者町駅～房信夷 隅町支店前		計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。				
いすみ市地域公共交通活性化協議会	小湊鐵道(株) いすみ循環-3'	市役所夷隅庁舎前 ～下布施～市役所 大原庁舎		計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
旭市地域公共交通会議	千葉交通株式会社 干潟地区ルート (CC-6-1)	干潟支所～東6区 集会所～東1区集 会所～旭中央病院 ※R2.3まで運行	<p>これまで、交通空白地域解消を目的とした一部ルート延伸や、JRにあわせた運行ダイヤ改正、安全を考慮した運行ルートの変更など、各種の見直しを行い、運行を維持してきた。これらにより、移動の円滑化も図られ、計画実施による効果が見られている。</p> <p>また、網形成計画に基づき、効率的かつ効果的な運行となるよう令和2年4月にコミュニティバスのルート・ダイヤの見直しを実施した。ルートは利用が多い区間の機能強化、市中心部の重複運行抑制のため、東西線を創設した。補助対象路線の干潟地区ルートでは、旭駅や旭中央病院へのアクセスは確保しつつ、ルートの一部を東西線に分離している。ダイヤは利用者の移動方向や移動ニーズにあった設定を行った。</p> <p>なお、コミュニティバスの見直し、デマンド交通の運行に合わせ、新たに総合公共交通マップを発行し、市内各戸に配布、市HPで公開している。</p>	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。	コミュニティバスの目標値について、網形成計画等に基づき、ルート・ダイヤ見直し後も10人/平日1便、5人/休日1便を設定した。	<p>網形成計画に基づくコミュニティバスの再編などの取組は評価できるが、コミュニティバス・デマンド交通の目標はいずれも未達成となった。新型コロナウイルスの影響で積極的な利用促進策を講じることが出来なかったことも影響していると思われるが、今後本格的に認知度向上のための施策を進めて頂きたい。また、コミバスやデマンド交通について、継続的にどういった目的・ニーズで利用されているか、運行形態や先行、予約システムが利用者のニーズに合致しているか、検証されることを期待する。</p>	
旭市地域公共交通会議	千葉交通株式会社 干潟地区ルート (CC-6-2)	干潟支所～湯木坂上～干潟駅 ※R2.3まで運行			目標 利用者数 10人/平日1便、5人/休日1便 実績 利用者数6.9人/平日1便、4.3人/休日1便	利用の多い区間の機能強化などから、路線の一部の分離により、路線延長が短くなったこと、人口が少ない地域を運行している路線であることから、令和3年度フィーダー系統確保維持計画では、7人/平日1便、3.5人/休日1便の目標としている。		
旭市地域公共交通会議	千葉交通株式会社 干潟地区ルート (CC-6-3)	干潟駅～湯木坂上～東1区集会所～旭中央病院 ※R2.3まで運行			少子化による人口減少もあり、全便において利用者数が減少している。3月には新型コロナウイルス対策により高校を含めた各学校の臨時休校が始まり、減少が大きくなっている。	しかしながら、4月～9月期の実績では新目標値の半数程度となっているため、車両内の新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、運行内容の周知を行い利用者の回復を図る。		
旭市地域公共交通会議	千葉交通株式会社 干潟地区ルート (CC-6-4)	旭中央病院～東1区集会所～市役所～旭中央病院 ※R2.3まで運行						
旭市地域公共交通会議	千葉交通株式会社 干潟地区ルート (CC-6-5)	旭中央病院～市役所～湯木坂上～干潟支所 ※R2.3まで運行						
旭市地域公共交通会議	千葉交通株式会社 干潟地区ルート (CC-6-6)	旭中央病院～東1区集会所～東6区集会所～干潟支所 ※R2.3まで運行						

旭市地域公共交通会議	千葉交通株式会社 干潟ルート(CC-4-1)	ひかた市民センター～東6区集会所～東1区集会所～旭中央病院 ※R2.4から	同上	同上	同上	同上	同上	
旭市地域公共交通会議	千葉交通株式会社 干潟ルート(CC-4-2)	ひかた市民センター～東6区集会所～東1区集会所～旭中央病院 ※R2.4から						
旭市地域公共交通会議	千葉交通株式会社 干潟ルート(CC-4-3)	干潟駅～湯木坂上～ひかた市民センター						
旭市地域公共交通会議	千葉交通株式会社 干潟ルート(CC-4-4)	ひかた市民センター～東6区集会所～東1区集会所～旭中央病院 ※R2.4から						
旭市地域公共交通会議	有限会社丸運タクシー 旭市デマンド交通	ひかた市民センター～東6区集会所～東1区集会所～旭中央病院 ※R2.4から	令和2年4月より運行のため今回が初回の事業評価	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 目標 収支率 18.7% 実績 収支率 10.4% 運行を開始した当初は、利用登録者数も少ない上、新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言期間であったことから、低調なスタートとなってしまうが、徐々に改善傾向がみられる。	車両内の新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、利用登録者の増加に向けて、市役所関係部署で連携し、利用者となる高齢者団体等に周知を行って行く。また、定期的に乗降対象施設の見直しを行い、利便性の向上に努めて行く。	同上	
旭市地域公共交通会議	旭タクシー株式会社 旭市デマンド交通	ひかた市民センター～東6区集会所～東1区集会所～旭中央病院 ※R2.4から						
旭市地域公共交通会議	アステル交通株式会社 旭市デマンド交通	ひかた市民センター～東6区集会所～東1区集会所～旭中央病院 ※R2.4から						

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山武市地域公共交通活性化協議会	ちばフラワーバス(株)	山武市基幹バス さんぶの森元気館⇄蓮沼海浜公園	前回の評価結果を踏まえ課題と課題を解決するための実施事業を検討し、平成31年3月20日に策定した「山武市地域公共交通網形成計画」の進行管理に反映させた。	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	目標①公共交通網の満足度を45.0%以上に向上させる。 【満足度】45.9% 【目標を達成できた要因】 基幹バス・乗合タクシーの認知と利用が市民に浸透してきたと推察されるため。 目標②基幹バスの1日当たり利用者数を134人以上に増加させる。 【利用者数】 109.6人/日 【目標を達成できなかった要因】 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令に伴い1日平均利用者が減少し、発令以前の程度まで回復できないため。 目標③乗合タクシーの1日当たり利用者数を131人以上に増加させる。 【利用者数】 118.8人/日 【目標を達成できなかった要因】 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令に伴い1日平均利用者が減少し、発令以前の程度まで回復できないため。	目標① 【基幹バス】 ・新たな利用者を確保するため、利用者ニーズの把握に努め、運行計画に反映させる。 【乗合タクシー】 ・市内を3地域に分け、それぞれの地域内を運行しているが、各地域の拠点となる施設等を対象として地域外運行を検討する。 ・運行効率の向上を図るため、同一の発着地への相乗りを促進する。相乗りの促進にあたっては相乗り割引の導入について検討する。 目標② ・市内の公共交通情報のオープンデータ化を実施し、各交通モードの一体的な利用促進を図る。 ・各事業者と連携し、地域間幹線系統への接続改善等、市内の各交通モード間の連携を強化する。	満足度の目標は達成した点は評価できるが、利用者数の目標は未達成となった。コミバスやデマンド交通について、どういった目的・ニーズで利用されているか、運行形態や行先、予約システムが利用者のニーズに合致しているか、検証を行って頂きたい。 また、乗合タクシーの地域外運行検討にあたっては、現在地域間の拠点を結ぶ役割を担っている路線バス・基幹バスとの役割分担に十分留意し、乗換・乗り継ぎの不満と、回転率を上げ利用機会を増やすこととの兼ね合いをしっかりと検討されることを期待する。	
山武市地域公共交通活性化協議会	房総自動車(有)	山武市乗合タクシー (成東、山武、蓮沼・松尾)	前回の評価結果を踏まえ課題と課題を解決するための実施事業を検討し、平成31年3月20日に策定した「山武市地域公共交通網形成計画」の進行管理に反映させた。	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	前回の評価結果を踏まえ課題と課題を解決するための実施事業を検討し、平成31年3月20日に策定した「山武市地域公共交通網形成計画」の進行管理に反映させた。	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された		
山武市地域公共交通活性化協議会	両総観光(株)	山武市乗合タクシー (成東、山武、蓮沼・松尾)	前回の評価結果を踏まえ課題と課題を解決するための実施事業を検討し、平成31年3月20日に策定した「山武市地域公共交通網形成計画」の進行管理に反映させた。	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	前回の評価結果を踏まえ課題と課題を解決するための実施事業を検討し、平成31年3月20日に策定した「山武市地域公共交通網形成計画」の進行管理に反映させた。	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された		
山武市地域公共交通活性化協議会	(有)松尾タクシー	山武市乗合タクシー (成東、山武、蓮沼・松尾)	前回の評価結果を踏まえ課題と課題を解決するための実施事業を検討し、平成31年3月20日に策定した「山武市地域公共交通網形成計画」の進行管理に反映させた。	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	前回の評価結果を踏まえ課題と課題を解決するための実施事業を検討し、平成31年3月20日に策定した「山武市地域公共交通網形成計画」の進行管理に反映させた。	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名： 地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
香取市地域公共交通協議会	千葉交通株式会社	小見川循環バス	利用者の意見聴取や運行状況の分析を行い、利用促進に向けた取り組みを行った。	計画通り事業は適切に実施された	計画目標は15,100人に対し、実績は9,930人となった。	新規利用者の獲得に向け、栗源地区への延伸を行う。また、効率的な運行を目的とし、輸送人数に見合った便数へ再編を行う予定である。	乗合タクシーは乗合率も比較的高く、目標達成となった点は評価できるが、循環バスは目標達成に至らなかった。沿線高校との協働による利用促進により、利用者とともによりニーズに合致し使いやすい交通に改善していく取組に期待する。	
香取市地域公共交通協議会	京成タクシー成田株式会社	小見川乗合タクシー	利用者の意見聴取や運行事業者との意見交換、運行状況の分析を行い、利用促進に向けた取り組みを行った。	計画通り事業は適切に実施された	計画目標5,900人に対し、実績は6,340人となった。	運賃体系の見直しを行う予定である。	コミバス・デマンド・路線バス相互間での乗り継ぎ改善策や運賃施策など、乗り継ぎが負担とならないような施策が業種を超えて実施され、地域の交通が一体的に使いやすいものとなるよう検討して頂きたい。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考			
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果				
市原市地域公共交通会議	小湊鉄道(株)	市原鶴舞バスターミナル～湯原～里見駅	今年度においても、計画どおり事業を実施するとともに、小中一貫教育校の通学に対応した運行ダイヤ・運行ルート改善検討等を適宜行った。	計画どおり事業は適切に実施された。	平成25年4月に加茂地区の5校を統合して開校した小中一貫教育校の児童生徒の通学手段の確保に寄与した。目標「1日の平均利用者40人」に対して、コロナウイルス感染症の影響により、「1日平均利用者26.55人」であった。	今後も、小中一貫教育校の通学に対応したダイヤ編成等を検討していく。また、平日の登下校の時間帯以外の便及び土日祝の便は非常に利用が少なく、運行の維持が厳しい状況であったため、平成28年12月に利用が少ない便の見直しを行い、平日のみの運行とすることで収支率の改善を図った。	デマンド養老地区・市津地区については目標達成となったが、加茂地区乗合バスとデマンド戸田地区は目標達成に至らなかった。デマンドの運営に地域住民が主体となって関わり、定期的に改善等を行っている点を評価する。				
市原市地域公共交通会議		市原鶴舞バスターミナル～山口駒込～里見駅									
市原市地域公共交通会議		市原鶴舞バスターミナル～高滝駅～里見駅									
市原市地域公共交通会議	小湊タクシー(株)	戸田地区	利用者ニーズの把握につとめ、新規登録者への無料乗車券の配布や複数人乗車時の割引制度の導入等、乗合率向上の取組を実施した。	計画どおり事業は適切に実施された。	交通空白地域である3地区において、デマンド型乗合タクシーの運行を維持することにより、高齢化社会における交通弱者等の生活交通の確保を図った。戸田地区は目標「1運行あたりの平均乗車人数 1.30人/回」に対して、「1.21人/回」であった。養老地区は目標「1運行あたりの平均乗車人数 1.40人/回」に対して「1.57人/回」であった。市津地区は目標「1運行あたりの平均乗車人数 1.20人/回」に対して、「1.29人/回」であった。	地域住民や交通事業者の参画のもと定期的に運営会議を開催し、運行状況や運行上の課題等を検証し、運行内容の改善及び利用促進を図っていく。	加茂地区乗合バスについては、スクール輸送の役割から教育委員会との協働による改善はもちろんであるが、地域住民の生活の足としてのニーズにも対応できているか、運行形態や行先がニーズに合致しているか、検証を進めて頂くことを期待する。				
市原市地域公共交通会議		養老地区									
市原市地域公共交通会議	(有)潤井戸タクシー	市津地区	利用者ニーズの把握につとめ、複数人乗車時の割引制度を導入し、乗合率向上の取組を実施した。								

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
君津市地域公共交通会議	大新東株式会社 君津営業所	小櫃・上総地区においてデマンドタクシーを運行し、交通不便地域における生活交通を確保する。	市の広報及びホームページで公共交通の利用実績を公表することで、多額の市の財政負担が続く状況では公共交通の維持が困難となることを周知し、併せて積極的な利用を呼びかけた。また、コロナ禍においても利用者が安心して乗車できるよう、車内に消毒液やパーテーションを設置し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を施した。	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	・目標利用者数49.2人/日に対し、実績は35.0人/日であった。 ・目標収支率16.2%に対し、実績は6.2%であった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市外からの利用者数が前年度比26.8%減少するなど、利用者数・収支率ともに目標を達成できなかった。	75歳以上の高齢者を対象に公共交通の利用券を配布するなど、公共交通を利用するきっかけを創出することで利用促進を図る。	利用者数・収支率ともに、目標達成には至らなかった。新型コロナウイルスの影響で観光客が減少し、利用促進策の実施も難しい状況であったが、ポストコロナではJR久留里線や中距離高速バスとの連携により観光客の誘致施策に取り組んで頂きたい。	
君津市地域公共交通会議	大新東株式会社 君津営業所	亀山地区において定時便を運行し、遠距離通学者のスクール利用を含め、交通不便地域における生活交通を確保する。	市の広報及びホームページで公共交通の利用実績を公表することで、多額の市の財政負担が続く状況では公共交通の維持が困難となることを周知し、併せて積極的な利用を呼びかけた。また、コロナ禍においても利用者が安心して乗車できるよう、車内に消毒液やパーテーションを設置し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を施した。	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、市外からの利用者数が前年度比26.8%減少するなど、利用者数・収支率ともに目標を達成できなかった。	75歳以上の高齢者を対象に公共交通の利用券を配布するなど、公共交通を利用するきっかけを創出することで利用促進を図る。	また、生活交通としての利用促進に関しては、広報やホームページによる周知のみならず、地域住民の会合の場などを活用した意見交換により、現在の運行形態とニーズとの乖離がないかを確認し、住民に当事者意識をもってもらいなどの意識変容を促すことを期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
印西市地域公共交通会議	ちばレインボーバス株式会社	コミュニティバス(ふれあいバス) 運行系統: 印旛・本笠支所ルート (印旛支所～竜腹寺～本笠支所～印西牧の原駅～本笠支所～竜腹寺～印旛支所) 31.8km 運行日: 毎日運行 運行時間帯: 7時25分～18時27分 運行本数: 7便/日(循環型) 運行車両: 1台 運賃: 大人(中学生以上)100円 ※小学生・乳幼児・障害者手帳保持者及び介助者1人まで無料	前回の事業評価では、目標値である利用者数65人/日が達成された。今後は、印旛支所ルートを含めた周辺地域のさらなる利便性向上を図るため、これまで乗り入れていなかった本笠支所へルート延伸を行い、「印旛・本笠支所ルート」に名称を改めることとし、令和元年10月1日に実施した。これによって、本笠支所停留所では、ふれあいバス東ルート、六合路線、乗合タクシー番号と乗り継ぎが可能となった。	印旛支所や日本医大千葉北総病院が立地する印旛日本医大駅エリアと、住宅が密集し大規模な商業施設が立地する印西牧の原駅周辺エリアを結び、荒野・竜腹寺地区や本笠支所を経由することにより、交通不便地域の解消を図ることを目的に、計画どおり実施された。	結果: 1日 46.43人 ・前年度に比べ、利用者数が大幅に減少し、目標人数80人/日は達成できなかった。 ・これはルート見直しとダイヤ改正を行ったところに、新型コロナウイルス感染症の拡大が重なったことにより、大幅な利用の減少となったものと考えられる。 ・しかしながら、本笠支所停留所の利用は増えており(資料参照)、交通不便地域への対応と地域住民の移動手段の確保に向けた取り組みを図ることができた。	・目標利用者数を下回った要因としては、認知度、ルート延伸に伴う減便、新型コロナウイルス感染症の影響等が考えられる。今後、様々な利用促進策を検討、実施し、利用者の確保を図る必要がある。	ルートの延伸を行い、これまで乗り入れをしていなかった停留所にて、他の路線への乗り継ぎを可能とし、利便性向上を図った取組は評価出来るが、1日当たり利用者数の目標は未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響により目標達成には至らなかったが、引き続き利便性向上の取組を進めていきたい。 また、運行内容の変更や行先、運賃などが利用者のニーズと合致しているか検証を行い、利用しやすい公共交通となることを期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
東金市地域公共交通会議	東金タクシー有限公司	デマンド交通 (東金市乗合タクシー) 市内全域	○当日の無断予約キャンセルの抑制のため予約キャンセル常習者に適宜電話での口頭注意を実施した。 ○利用者が希望する時間に予約が取れない場合でも、利用可能な時間帯を提案することで、利用に繋げる取組みを実施した。	計画通り事業は適切に実施された。	【目標数値】 1日当たり利用者数 55人 (前回目標 55人) 【結果】 1日当たり利用者数 42.3人 (前回実績 55.9人)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりデマンド交通自体の需要が一時的に低下している。需要が回復した際に効率の良い運行が可能になるよう予約キャンセル常習者への口頭注意等を随時実施し、予約不成立件数の削減に努めていく。	1日当たりの利用者数の目標は未達成となった。利用者数は2月以降、乗合率は4月以降より低下し、9月までにいずれも回復の兆しが見えない状況にあることが窺える。新型コロナウイルス感染症の影響により目標達成には至らなかったが、引き続き、改善点における取り組みを進めて頂きたい。また、今後改訂予定の地域公共交通計画により、目指すべき地域の交通体系の実現に向け、設定している目標の指標が適切か、目標値の水準が適切か等の検討が行われることを期待する。	
	南総タクシー株式会社							
	小川タクシー有限公司							
	仲田タクシー有限公司							

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小湊鉄道株式会社	勝浦市予約制乗合タクシー (上野地区、大沢地区、 浜行川地区、小松野地区、大楠 地区及び松部・串 浜地区の一部)	○市広報誌に予約制乗合タクシーのご案内記事を掲載し、周知及び利用促進を図った。 ○運行区域を拡大した地域において住民説明会を開催し、周知及び利用促進を図った。	事業は計画どおり適切に実施された	【目標】 利用者数 5,529人 (1日当たり 19人/日) 【実績】 利用者数 4,989人 (1日当たり 17.1人/日) 【目標不達成要因】 運行区域の拡大とともに運転免許証返納者への料金割引制度を開始したことで利用促進が図られ、新型コロナウイルス感染症拡大以前については目標値を上回る利用があったが、感染拡大以降は感染防止対策として不要不急の外出を控えることが求められるなど、公共交通全体の利用が減少したものと考えられる。	○市広報誌に予約制乗合タクシーのご案内記事を掲載し、周知及び利用促進を図るとともに、改善要望等の意見募集を行う。 ○公共交通空白地域等の解消のため運行区域の拡大等について検討を進める。 ただし、現行の車両数で対応できる範囲とするなど、運行経費を抑える。 また、車両や運転手の消毒や換気を徹底するなど感染症対策を実施し利用者の安全・安心を確保する。	○市広報誌に予約制乗合タクシーのご案内記事を掲載し、周知及び利用促進を図るとともに、改善要望等の意見募集を行う。 ○公共交通空白地域等の解消のため運行区域の拡大等について検討を進める。 ただし、現行の車両数で対応できる範囲とするなど、運行経費を抑える。 また、車両や運転手の消毒や換気を徹底するなど感染症対策を実施し利用者の安全・安心を確保する。	デマンド交通の運行区域拡大や運転免許証返納者への料金割引制度を導入するなど利用促進に取り組んだことは評価できるが、目標とした利用者数は未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響により目標達成には至らなかったが、引き続き利用促進や利便性向上のためのロリ組みの検討を進めて頂きたい。また、コミバスやデマンド交通について、どういった目的・ニーズで利用されているか、運行形態や行き先、予約システムが利用者のニーズに合致しているか検証を進めるとともに、市民にとって利用しやすい公共交通となることを期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大網白里市地域 公共交通活性化 協議会	小湊鐵道株式会社	増穂地区コミュニティバス ・運行系統：中部コミュニティセンター～中部コミュニティセンター ・運行日：毎日(9便は平日のみ運行) ・運行本数：9便/日(平日)、8便/日(土日祝日、8月13日～15、12月29日～1月3日)	更なる利用者の利便性向上やニーズの把握を行うため、利用者アンケートを実施。この結果や運行事業者等の意見を踏まえ、引き続き利用状況の分析を行い、正確なニーズ把握を行うことで利用促進を図りたい。	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	・令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数が減少に転じた。緊急事態宣言解除後、少しずつ回復傾向に向かっているものの、目標とした利用者数を下回る結果となった。 ・利用状況を分析すると、市内公共交通空白地域(清名幸谷、上谷新田、南横川等)において、自由乗降を利用した乗降者が多く見られるため、事業の効果として、計画と合致した成果が見られる。	・コミュニティバスの運行が継続されることは、地域にとって有効な活性化施策になるという理解の浸透をはかるとともに、地域住民が当事者意識を持ち、地域で公共交通を維持していくという意識を持っていただけるよう、利用促進策や、情報提供の仕組みを検討していく必要がある。 ・住民の移動手段、ニーズ等を分析し、更なる利便性の向上を図っていく。	運行計画の変更や市広報誌等による周知により利用促進を図ったことは評価できるが、目標とした利用者数は未達成となった新型コロナウイルス感染症の影響により目標達成には至らなかったが、利用が伸び悩んだ理由を分析し、その結果を踏まえて今後の施策の検討をされることを期待する。	
大網白里市地域 公共交通活性化 協議会	秋葉タクシー有限会社	白里地区コミュニティバス ○令和元年10月～令和2年3月 ・運行系統：コスモス荘～大網病院、コスモス荘～コスモス荘 ・運行日：月曜日から金曜日(土日、12月29日～1月3日運休) ・運行本数：一日8便 ○令和2年4月～令和2年9月 ・運行系統：コスモス荘～コスモス荘、白里公民館～大網白里市役所 ・運行日：月曜日から金曜日(土日、12月29日～1月3日運休) ・運行本数：8便/日	・住民アンケートの結果や、過去の利用状況の実績をもとに運行計画の見直しに着手。令和2年4月より、白里地区内を循環するルートに加え、白里地区内から、乗継ぎなしで大網駅等市中心部へ向かう市街地ルートを新設した。	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	・平成30年10月の運行開始以降、市広報紙やホームページ、チラシの配布等の周知に加え、利便性の高いルートの新設等利用者数の増加を図ったが、1便あたりの利用者数は1人程度であり、目標の達成には至っていない。 ・コミュニティバスの運行を行うことにより、白里地区に存在する公共交通空白地域の大部分が解消され、高齢者や免許返納者等の移動手段確保並びに外出支援の確保が可能となっている。	・コミュニティバスの運行が継続されることは、地域にとって有効な活性化施策になるという理解の浸透をはかるとともに、地域住民が当事者意識を持ち、地域で公共交通を維持していくという意識を持っていただけるよう、利用促進策や、情報提供の仕組みを検討していく必要がある。 ・これまで実施してきた白里地区の公共交通施策や、コミュニティバスの利用状況、住民意向を把握したうえで、白里地区の公共交通として最適な施策を検討していく。	といった目的・ニーズで利用されているか、運行形態や行き先、予約システムが利用者のニーズに合致しているか検証を行いながら、利用者にとって利用しやすい公共交通となることを期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 3年 2月 26日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長南町地域公共交通活性化協議会	事業者名:(有)長南タクシー 運行系統名:町内全域	長南町全域でドア・ツー・ドア方式	前年度の評価結果を踏まえ、着実に事業を実施している	計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	・計画年4,097回の運行に対し、5,076回運行し、延べ5,818人の交通手段の確保が出来た。	通院でデマンド乗合タクシーを利用される方が多く、診療時間の関係で運行が午前中に集中する。	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されており評価出来る。 取り組みについては、利用方法を簡潔にまとめた案内プレートを作成や、ペア割制度を導入するなど、利便性の向上や、利用促進に取り組まれていることは評価できる。 引き続き、住民のニーズを的確に捉え、利用しやすい公共交通になるよう今後の取組にも期待する。	
長南町地域公共交通活性化協議会	事業者名:ゆたか自動車(株) 運行系統名:町内全域	長南町全域でドア・ツー・ドア方式	前年度の評価結果を踏まえ、着実に事業を実施している	計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	・計画年4,097回の運行に対し、3,907回運行し、延べ4,160人の交通手段の確保が出来た。	通院でデマンド乗合タクシーを利用される方が多く、診療時間の関係で運行が午前中に集中する。	また、今後の改善点としては、他の公共交通も含めて利用実態等を注視し、地域全体の公共交通のあり方を検証しながら、持続可能な公共交通の構築に取り組んでいただけるよう期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
御宿町地域公共交通会議	小湊鉄道株式会社	町内全域をカバーする乗合運行(デマンド型)を地域内フィーダー系統確保維持事業として、平成26年10月1日から実施。ルートを決めず、運行エリア内を乗合で移動するもので、事前予約型・町内全域乗合タクシーとして運行している。	利用者のニーズに基づき、共通乗降場所を町内1か所追加し、利用促進に取り組んだ。 (13→14か所)	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった ※目標利用者5,400人に対し実績4,275人(▲1,125人) ※目標収入1,635,900円に対し実績1,233,600円(▲402,300円)	・引き続き利用状況の統計を蓄積して不満やニーズを探り、利用満足度の高いサービスを実施していく。 ・リピーターが多いため、ライフサイクルが合致する方にとっては満足していただけにいる方のうちよく利用する方は少なく、移動を困難と感じている方はもっと潜在すると思われるため、制度周知を重ねて実施していくことに加え、移動先別の移動モデルの提示を行うなどのアプローチを検討していく。	利用者ニーズを捉え乗降場所を増設し、利用促進に取り組んだことは評価できる。新型コロナウイルス感染症の影響等により設定した目標値を達成できなかった点もあるが、引き続き広報等の利用促進策や利便性向上等の取り組みを継続的に実施されることを期待する。また、コミバスやデマンド交通について、どういった目的・ニーズで利用されているか、運行形態や行き先、予約システムが利用者のニーズに合致しているか検証し、地域住民にとって利用しやすい公共交通となることを期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
横芝光町地域公共交通会議	事業者名:有限会社横芝タクシー 運行系統名:横芝光町デマンドタクシー	横芝光町デマンド(乗合)タクシー(町内全域)	【前回の評価結果】 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施されており評価できる。目標・効果達成状況について、利用者数が目標値及び昨年実績を上回っており評価できる。また、利用者満足度の目標値設定については、目標値を達成しているものの、普通の占める割合が大きいこと、昨年実績を踏まえ、更なる満足度向上のための検討を進めることを期待する。 【反映状況】 実績値を基に循環バス・乗合タクシーの利用者数を変更。	●計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。 ・利用者からの意見や利用状況を踏まえ、必要に応じ改善を図り、来年度以降も継続する。	【利用者数】 目標である循環バス・乗合タクシー利用者数3,000人/月に対し、令和2年度(令和元年10月～令和2年9月)の利用状況は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛などの影響を大きく受け、月平均利用者数は2,497人/月と目標値を下回る事となった。 【公共交通に関する満足度】 満足度40%以上を目標と設定しており、循環バス及びデマンドタクシー登録者アンケートにおける全般的なサービスの満足度は、循環バスが、普通23%、まあ満足19.5%、満足59.5%で、普通以上の回答割合の合計が79.0%となっている。デマンドタクシーが、普通27.8%、まあ満足25.0%、満足16.7%で、普通以上の回答割合の合計が69.5%となっている。2つの合計値の平均は74.3%となるため、目標値を達成している。	地域公共交通計画策定に係る基礎調査として行ったアンケート調査の結果を踏まえ、循環バスの運行ルートやダイヤ、デマンドタクシーの適正な台数や運行エリアなど、より利便性の高い公共交通の確立を目指す。	公共交通に関する満足度の目標は達成したが、乗合タクシー利用者数の目標は達成に至らなかった。今後、地域公共交通計画の策定に取り組むに当たり、路線バス・コミュニティバス・デマンド交通相互間での乗り継ぎ改善策や運賃施策など、乗り継ぎが負担とならないような施策が業種を超えて実施され、地域の交通が一体的に使いやすいものとなるよう検討いただきたい。 また、財政負担についての問題意識を反映し、収支率を目標に設定することや、満足度については現在循環バスとデマンドタクシーを使っている方だけでなく、何らかの理由により使っていない人も含めて調査することも検討いただきたい。	協議会における事業評価で記載頂きました町内循環バス(横芝光号)は、補助対象外であるため今般の書面では除外しております。
横芝光町地域公共交通会議	事業者名:房総自動車有限会社 運行系統名:横芝光町デマンドタクシー							
横芝光町地域公共交通会議	事業者名:両総観光株式会社 運行系統名:横芝光町デマンドタクシー							

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鴨川市地域公共交通会議	鴨川日東バス株式会社	1. 北ルート 金山ダム～鴨川駅西口～鯛の浦～内浦山県民の森	計画に定めた目標の達成を目指し、コミュニティバス各ルートのパンフレットを作成・配布したほか、モビリティ・マネジメントの一環として、小学生を対象とした「公共交通乗り方教室」を開催するなど、各種利用促進策に取り組んだ。また、利用者ニーズに即したサービスとするため、運行事業者から停留所・便ごとの利用状況の定期報告を受け、利用状況の把握・分析に努め、利用者増加に向けた検討を行った。	事業は計画に位置付けられ、適切に実施された。	利用目標 41,661人/年に対し、実績では26,119人/年であった。内訳は、以下のとおり。 ○北ルート 実績 13,211人/年(対前年比88.1%) ○南ルート 実績 10,410人/年(対前年比85.5%) ○清澄ルート 実績 2,498人/年(対前年比71.4%) (理由等) 沿線住民の人口減少、特に市内小・中学校の生徒・児童数の減少等による恒常的な利用者が減少したことに加え、秋の台風被害及び新型コロナウイルス感染症の影響などが大きな要因となり、目標に届かない結果となった。	一層の利用促進を図るため、公共交通乗り方教室をはじめとした各種事業に内容の改善を図りながら継続的に取り組んでいく。 また、次期鴨川市地域公共交通計画の策定に向けて、運行事業者から提供される利用状況のデータ分析に加え、交通事業者へのヒアリング調査や市民アンケート等の基礎調査結果などを基に、民間路線バスも含めた路線の再編や運行内容の見直し等の検討を進めている。	年間利用者数の目標は達成に至らなかった。自己評価でも記載のとおり、台風や新型コロナウイルスの影響も大きいものの、沿線人口の減少など根本的な要因も存在するため、次期公共交通計画の策定を契機に、需要やニーズを検証し、路線バスを含めた地域全体の公共交通網の見直しを進めていただきたい。 また、検討の際には、コミバス・路線バス相互間での乗り継ぎ改善策や運賃施策など、乗り継ぎが負担とならないような施策が業種を超えて実施され、地域の交通が一体的に使いやすいものとなるよう検討されることを期待する。	
鴨川市地域公共交通会議		2. 北ルート 金山ダム～鴨川市役所～鴨川駅西口						
鴨川市地域公共交通会議		3. 南ルート 曾呂終点～畑青年館～鴨川駅西口～浦の脇～鴨川駅前						
鴨川市地域公共交通会議		4. 南ルート 曾呂終点～畑青年館～鴨川駅西口						
鴨川市地域公共交通会議		5. 南ルート 浦の脇～東条病院～鴨川駅前						
鴨川市地域公共交通会議		6. 清澄ルート 奥清澄～清澄寺～天津小湊支所						

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
富津市地域公共交通会議	NPO法人わだち	竹岡地区公共交通 空白地有償運送	市広報紙での記事掲載、チラシの配布等を行い周知に努めたほか、アンケート調査を実施し、ニーズの把握及び分析を行った。	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。	アンケート調査で得られた移動ニーズを基に、運行計画を変更し、令和2年10月1日から実施している。利用状況を踏まえ都度見直しを行う。	アンケート調査を行い、利用者のニーズの把握を行うなどの取組は評価出来るが、利用者数の目標値は未達成となった。昨年行ったアンケート結果を再度、運行しているNPO法人とともに分析し、利用者のニーズと合致した運行となることを期待する。また、「地域と連携した地域特性等に即した移動手段の確保数」という目標は達成できたが、1件という目標は運行により当然達成されるものであるため、見直されることを期待したい。	